

緑のセンターだより



No.164

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel：0166-65-5553 Fax：0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 29 年 2 月 1 日



講習会のご案内

（お申込み・受付は前月の 20 日から）

「果樹のせん定と栽培管理」-リンゴ、サクランボ、プラム-

とき 平成 29 年 2 月 19 日（日）
午後 1：30～3：30 定員 50 名
講師 ふじくらすも果樹園
代表 増茂 聡さん

SPECIAL

「植物の病害虫と園芸薬品」

ガーデンドクター草間祐輔さんの
とても人気のある講習会です。
日時：平成 29 年 2 月 23 日（木）
午前 10 時～12 時 定員 50 名



New

「フラワーアレンジメント」-切り花やドライフラワー-

とき 平成 29 年 3 月 5 日（日）◎2,000 円
午後 1：30～3：30 定員 20 名
講師 マミフラワーデザインスクール 澤沼 雅子さん

「神楽岡公園探索と樹名板設置」カシキで歩こう

とき 平成 29 年 3 月 12 日（日）
午前 9：30～11：30 定員 10 組
講師 北邦野草園研究員 宮本 義憲さん



次年度の講習会予定

（詳細は次号に記載予定）

「コンテナで作るベビー野菜作り」

こども講座「多肉植物の寄せ植え」

「フラワーアレンジメント」

初心者でもコンパクトに美味しく
作れるんだあ～



展示会のご案内

（初日は午後から、最終日 4 時まで）

「神楽岡公園の四季写真展」

2 月 4 日～ 3 月 26 日

今年こそは
パーサースキー
大会に出るぞ～

5Km?

歩くスキー、無料貸出
は 2 月末までです。
運動不足、健康維持に
最適ですよ！

10Km?

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。（祝日の場合は翌日）
11 月～ 3 月は毎週月曜日が休館日です。（ " " ）



〈園芸の基礎知識〉 植物の根の構造と働き

～ 根の生育環境 ～

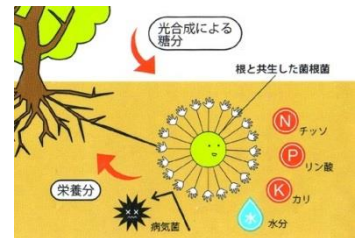
前回まで「根の構造」や「根の働き」について説明しましたが、今回は「根の生育環境」について簡単に説明します。

■根と土壤環境

植物は根によって養分や水、酸素が吸収され、光合成産物や二酸化炭素が根から放出されています。これら根の周り(根圏)には多くの微生物が集積し、物質代謝など相互作用が行われています。植物が健全に生育するうえで、根圏の微生物の環境確保などを行い健全な土壤環境を作る必要があります。

■根圏の微生物

植物の根の周り(根圏)に生息する微生物のことで、根の周りでは根から分泌される酸などを餌とする微生物が繁殖し、その微生物が土中の養分を植物が吸収しやすい形態に変えたり、微生物が分泌する養分を植物が受け取るなど植物と微生物が共生しています。チソ固定菌やリン溶解菌、糸状菌、細菌など多くの種類の微生物がおり、養分の吸収や根の形態、生理活性物質の生産、根圏環境の保護などの働きを通して直接植物の生育に影響を及ぼします。



■根粒菌

マメ科植物の根に根粒(粒状構造物)を形成し、その中で空気中の窒素をアンモニア態窒素に変換して植物にチソを供給する根粒菌という土壌微生物をいいます。植物から根粒菌には光合成産物が供給され共生関係を成立させています。



■菌根

菌類が植物の根(ラン科では地下茎、シダ類では前葉体)に侵入して、根と菌の菌糸との共生体のことで、菌根を作る菌類を菌根菌といいます。菌根は根粒と混同されますが、根粒のようにチソ固定は行いません。菌根の主な機能は土壌中の肥料分の吸収と植物への運搬、土壌病害への抵抗性の向上、水分吸収能力の強化があげられます。植物からは光合成産物やリン資質などを菌類に与え相互共生を営んでいます。菌根植物の共生の仕方には、根の細胞に入り込む内生菌根と根の表面にまといつき菌套を作る外生菌根、両菌糸を持つ内外生菌根に分けられます。



(参考資料:小学館「園芸植物大事典」、八坂書房「植物用語事典」ほか)

緑の相談 Q&A (38)

花キリンが高さ30cmほどに大きくなりました。茎の上にしか花が咲かないので、切って挿し木したいと考えていますが可能でしょうか？途中で切ったら親株の上のほうに、また花が咲くのでしょうか？教えてください。



挿し木することは可能です。挿し木する場合は、3～5月頃のせん定に合わせて、さし穂を5～10 cmに切って、切り口から出る乳白色の液体を水で洗い流してティッシュペーパーなどで拭き取り、切り口を2～3日乾かしてから赤玉土(小粒)や鹿沼土などに挿してください。水やりは1～2週間後くらいから与えてください。挿し木してから1～2か月くらいで根が出ると思います。また、切った親株は切り口付近から新しい枝が出てそれに花芽を付けると思いますので、そのまま育ててください。

(参考資料:ナツメ社「はじめての観葉植物の手入れと育て方」ほか)

※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらもご利用ください。

植物の病害虫

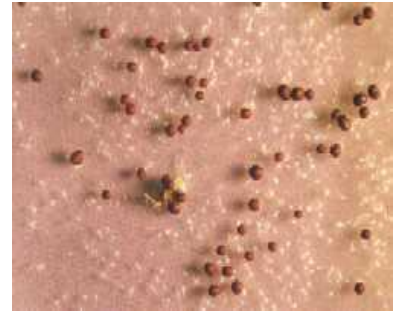
その35 「白絹病」^{しらきぬびょう}



ネギの白絹病



スイカの白絹病



白絹病の菌核

1 寄生しやすい植物

野菜: キュウリ、ナス、タマネギ、カボチャ、トマト、ニンジン、ネギ、ピーマン、ラッカセイ

果物: スイカ、イチゴ

花き: フジバカマ、シュウメイギク、アルストロメリア、ハンゲシヨウ

庭木: イロハモミジ、ジンチョウゲ、ハイビスカス、他多くの植物

2 被害

若い茎の地際部^{ちぎわぶ}や球根等が、はじめ、地面がぬれたようになり、腐敗^{ふはい}が進むと地際部^{ちぎわぶ}から倒伏^{とうふく}します。果実が地表面^{せつしやく}に接触していると接触部^{せつしやくぶ}から腐敗^{ふはい}が進みます。また、貯蔵中には果実や球茎等が罹病^{ちよぞうちゅう}し、周囲^{きゅうけい}に伝染^{りびょう}します。罹病部^{でんせん}の表面には光沢のある白いかびが広がり、しばしば茎の地際部^{りびょうぶ}を中心に地表面^{ちぎわぶ}を覆います。やがてかびの中に白色^{おお}の塊^{かたまり}ができ、のち球形^{かたまり}～隋円形^{けい}なり、淡褐色^{たんかつしやく}で、ダイコンの種子^{たんかつしやく}のような1～2mm大の粒^{きんかく}(菌核^{えつねん})が多数形成されます。白いかびと淡褐色^{たんかつしやく}の粒^{きんかく}(菌核^{えつねん})が白絹病^{しらきぬびょう}の特徴なので診断は比較的容易にできます。

3 生態

病原菌は非常に多犯性^{たはんせい}であり、160種以上の植物を侵^{おか}します。本菌の生育適温は30℃と高温性で、菌糸の伸長も速やかです。露地栽培^{ろじさいばい}では高温期、とくに梅雨期から夏の終り頃にかけて多湿状態で被害が多くなります。病株上に形成した菌核^{きんかく}は落下後、越年^{えつねん}し、翌年の主要な伝染源^{えつねん}となります。なお菌核^{きんかく}は土壌中^{じょうちゆう}で5～6年間生存します。

4 防除法

耕種的防除: 連作を避け、床土は無病土を用いる。被害株、病原菌のついた敷きわら等は直ちに除去し焼却^{しょうきやく}します。植え付け前に石灰を施用し、土壌酸度^{どじょうさんど}を矯正します。無病苗を植え付けます。畑の排水を良好にします。

化学的防除: バリダマイシン液剤(商品名:バリダシン液剤5)、フルアジナム粉剤(商品名:フロンサイド粉剤)、フルトラニル粒剤(商品名:モンカット粒剤)、トリクロホスメチル粉剤(商品名:リゾレックス粉剤)作物ごとに薬剤^{とうろくないよう}の登録内容を確認して使用します。

土がなくても育つエアプランツ

パイナップル科 チランジア属 中央・南アメリカ原産 常緑多年生植物



エアプランツは、「土がいらず水もいらない、手間がかからない。インテリアとしても注目・・・。」などのキャッチフレーズから 100 円ショップなどでも販売され、目にする機会が増えました。

エアプランツとは、チランジア属に分類される植物の総称で、南北アメリカ大陸に広く分布しており、自生環境は山中から砂漠まで多種多様です。さらに、土には根を張らず風通しがよく霧が立ちこめる木や岩などにくっついて育ち、生育に必要な養水分は空気中(霧・夜露・雨など)から葉で吸収して生長することが

名の由来にもなっています。品種は、乾燥などから身を守る鱗片(トリコーム)に覆われて葉が銀色っぽく白い粉をふいたように見える「銀葉種」と、緑色の葉をしている「緑葉種」に大別されています。

- 1 選ぶ場合のポイントは、①持ってみて重みがあるもの。②葉の色がイキイキとしてキレイなもの。③葉先が茶色く枯れ込んでいないもの。④株元がスカスカしていたり柔らかくないものを選ぶ。
- 2 栽培上のポイントは、一般的に①乾燥には比較的強いが水を好む。しかし、蒸れにはきわめて弱い。②柔らかい光(明るい日陰)と風を好むので室内栽培では気配りが必要。温度は、夏は 25℃以上をできるだけ避けて涼しく、冬は5℃以上を保てば生育できるが、暖房やエアコンの風は乾燥して枯れることもあるので要注意。水やりの基本は週に2~3回の葉水で、夏はエアプランツが活動しだす夕方に、冬は午前中に霧吹きなどで水やりをする。肥料は春と秋の成長期に月 1 回、観葉植物用の液肥を 3,000~5,000 倍に薄めて、水やりをかねて霧吹きなどで与える。
- 3 銀葉種と緑葉種の特徴は、①銀葉種・・・メキシコや南アメリカの乾燥地域が主な原産地。明るい窓辺を好むが、直射日光は葉焼けを招く場合があるので要注意。代表的な品種はハリシー、カピタータ、マグヌシアナ、イオナンタコルビー、イオナンタイオナンタ、カプーメドウサエ、ジュンシフォリアなど。
②緑葉種・・・中南アメリカの熱帯雨林や湿潤な森林地帯が主な原産地。銀葉種よりも強い日照や乾燥を嫌い、水切れに注意が必要。代表的な品種は、ブラキカウロス、プセウドベイレイ、トリコロールメラノクラテル、ブッシー、ブルボーサなど。

展示室の植物 (71)

カトレア トリアネイ “ムーレアナ”

学名: *Cattleya trianaei* ラン科 カトレア属 産地: 中南米、コロンビア西南部

ランは、植物の進化の中で最も遅く地球上に現れ、今も盛んに新しい種を生み出しつつあることから、最も進化した植物と呼ばれています。ランの総数は世界に約 25,000種あり、その花の特徴によって約 700属に分類。花の女王と呼ばれるカトレアの原種は中南アメリカに約 50種が生息しています。

カトレアの原種の一つであるトリアネイは、原産地コロンビアの国花となっていますが、1860 年にドイツの植物専門誌 (Botanische Zeitung) には「これ以上美しい色彩を持ったカトレアは他には存在しないであろう。」と原種発見の逸話が紹介されたそうです。

